

甲南大学法科大学院入学試験問題について

2018年度春入学

一般入学試験（B日程・12月2日分）

試験科目：商法

1. 出題趣旨

原始定款に記載等のない財産引受けの効力について、条文及び判例・学説の理解を問うものである。

2. 採点実感

原始定款に記載等のない財産引受けの効力を定める会社法28条2号の規定については、大半の答案が指摘することができていた。しかし、原始定款に記載等のない財産引受けの無効を譲渡人も主張することができるか及び成立後の会社が当該財産引受けを追認することができるかについては、その結論を基礎付ける理由について論じている答案は少なかった。また、当該財産引受けの無効を成立後の会社が主張することに制約はないのかについて論じている答案も少なかった。

3. 学習方法

会社法についての基本的知識を正確に理解し、的確に使いこなすことができるようになるために、条文、基本書及び判例集を読み込むとともに、短答式問題及び簡単な論文式（事例）問題を解くという作業を地道に続けて下さい。

以上